

# 東朋会ミニ通信



小田原市長興山の枝垂れ桜

## 【会員情報】(3月末)

会員 428名

**傘寿** おめでとぅいひがます

(敬称略)

石田 稔 (2/22)

皆吉 二三也 (2/23)

中園 良二 (3/15)

発行者 香川 修司  
連絡先 事務局 島津 晃  
0467-73-0515  
三井所 信夫・島津 晃  
編集者 白尾 幸子・小倉 進

## 第100回

### 東朋会理事会 報告

3月14日(水)

#### 議 事

- (1) 東朋会「中・長期活動日程(案)」の件。
- (2) 心肺蘇生体験「AED」講習会実施計画。
- (3) 寒川消防本部に依頼実施日 5/9(水)
- (4) 詳細はミニ通信3月号に同封する。
- (5) 第12回芸能大会の計画。実施日 5/26(土)
- (6) 詳細はミニ通信3月号に同封する。
- (7) 東朋会創立10周年記念行事実行委員会設置と開催。
- (8) 防災センター見学・体験の計画。詳細はミニ通信3月号に同封。
- (9) 規約/規定委員会の開催について。
- (10) 5月より開催予定ミニ通信発行計画・ホームページの取り組み。
- (11) 電波の集い」支援について。

#### 報告事項

- (1) 古希の集い。  
3/16(金)8名参加  
詳細は2面
- (2) 2018年2月度会計報告と資金運用報告。

#### 下ーホーライフ

- ①慶弔見舞金制度  
2018年4月～5月対象者確認。

#### 事務局からのお知らせ

- ① 東朋会事務所  
5月連休のお知らせ  
4/28(土)～5/6(日)
- ② 有志の方々から申し出のあった 小柳隆夫さんを「偲ぶ会」を湘南クラブハウスで開催いたします。  
4/15(日)  
11時～13時30分
- ③ 東朋会は、ホームページを立ち上げております。  
「一般財団法人東朋会」で検索できます、ご利用ください。

#### 計 報

森 二郎氏 (85)(1/23没)  
小柳 隆夫氏 (72)(2/19没)

#### 季節雑感



### 「思い出のアルバム」から「旅立ちの日に」

理事長 香川 修 司

春の兆しとともに花粉症の人達がマスクとティッシュを手放させず苦戦していました。彼岸の中日には寒戻りの雪が降り、家に閉じこもり寒さに耐えました。自然は刻々と変化し、今や桜の花の季節となり、日々同じところに留まりません。私たちの人生も同じです。

先日も娘が実家に帰ってきて、幼稚園の卒園歌の伴奏のために、ピアノの練習をしていました。その曲は「旅立ちの日に」というので、昔の「思い出のアルバム」とは変わっていました。子供のころは過去の思い出よりも将来の夢や期待の方が大きく心を占めていましたが、私達の世代になると、残された人生も少なくなり思い出ばかりが話題となり、また、社会の変化も激しく、慣れない将来のことよりも今が楽しければと刹那的になります。

春になると彼岸会に先人たちを偲び、卒園式などに子供たちの将来を思うとき、残された人生だけでなく、あとに続く次世代の、後輩達や子供や孫たちに、その幸いを願い、形を変えて生き続けるように私達の「生き様」を未来に残す努力をしたいものです。

東朋会の事業も過去を懐かしむだけでなく、長寿高齢社会の充実した生き方を実現しようと会員同士で協力している活動であり、それが将来の世代の中に生き続ければ幸いです。

さくらの詣で

白尾 幸子

私たち夫婦がその桜に魅せられて、もう二十年位になる。長野県伊那市高遠町にある「高遠城址公園」に咲くコヒガンザクラで、小さく可憐な花が満開の時は山丸ごと桜色に染め、一年に一度観桜に来た私たちの色々な思いを包み隠すかのように咲き誇る。

全国的にも桜で有名な場所である為、混み様はすさまじい。私達のさくら詣での工程は過酷なものとなる。前日の夜23時自宅を出て夜中の2時半頃に着き開門前の駐車場前に並んでいる車の列に並び5時の開門を待つ、駐車場に入ったら持参した毛布にくるまって車内で仮眠を取り、朝陽が桜を光らせ際立たせるのを待つ朝食を済ませ、すでに入出の増えてきた城跡を散策する。



コヒガンザクラ

永年通い続けている中ではいろいろなことがあった。夜中に峠越えするので野生の鹿の群れが道路を塞いでいるのに

遭遇したり、ネットで開花状況が確認できない昔は開花が早かったり遅かったりで失敗も多かった。それでも散つてしまった桜の花びらのじゅうたんに感動できた。

今年、娘の出産が近くて、桜に逢いに行けるかどうかかわからないが、こんな過酷な工程の花見を、今年も来て観られてよかったね」と交わせることが健康のバロメータになっている。あと何回通えるかな。

職場の蛙

林 文比古

今朝は、ウグイスが心地よい声で鳴き、メジロが木の枝に留まりこちらを可愛い目で見つめています。時々、白鷺が池に飛来して鯉を食そうと狙っているために、一日に数回池を見に行きます。

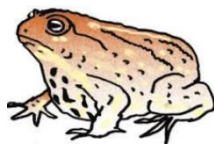
三月の二週目、池に親蛙達が、恋をするために山から下りてきました。そして、にぎやかに恋のバトルを繰り広げます。陸では、のそりのそりと歩き回る蛙も、水の中では驚くほど素早い平泳ぎを披露してくれます。数日、恋のバトルを楽しみ、バトルに勝った蛙達が無事産卵を迎えます。産卵の状況は、残念ながら見る事が叶いません。

夜中に産卵しているようです。今年、例年より帰ってきた蛙が少なかったため、卵の数が少ないのが残念です。

親蛙ですが、あの可愛い雨蛙ではなく、黒っぽい色をした見た目の良くない、いわゆるガマガエルです。名前は分からないので、勝手にガマガエルと呼んでいます。

親蛙は、産卵までにかなり危険な目に合うことになり、鳥あるいは猫に襲われたと思われる傷だらけになった親蛙の姿を見ることになりました。悲しいことですが、どうすることもできない自然の営みです。

数日すると、いつの間にか池に卵から孵った真つ黒なオタマジャクシがうようよと固まって泳いでいます。手ですくってみると、その動きやお腹の丸さが何とも可愛く感じられます。



池の蛙

それから、数日すると今度は子蛙に成長します。体色は真つ黒で二センチ弱位の小さな小さな蛙です。体は、ぷよぷよしています。あまり小さいので、雑食の池の鯉に食べられるのではと心配しましたが、その心配は杞憂で

した。

ある時期池で充分遊ぶと、ある日突然、みんな揃って一斉に山(森)に帰っていきま。山に向かつて一生懸命に跳ねていく小さな姿を見たときは感動しました。雨蛙と違い、黒子蛙は鳴くこともなくもくもくと山を目指します。大きくなって池に帰ってくる事を祈って終わります。

健康の話

山崎理事

今回は不整脈の記事を載せます。私も現役時代一日に何回も起こる不整脈に悩まされカテーテルアブレイションの治療を受けたことがあります。

現在は、全く不安はありません。私の場合タバコが原因のようでした。(5面参照)

年金の話

久玉副理事長

近年、長寿化が進み人生百年時代がささやかかれ、東朋会会員の多くの方が65歳を過ぎても何らかの仕事をされているようです。

日本経済新聞1月6日号に公的年金活用の損得を再考していますので別紙を参考にしてください。(6面参照)

高齢者と車社会

「自動運転車の未来は」

◆懸念されていた事態が現実のものとなってしまった。米国アリゾナ州で、Uberが実施していた自動運転実験で事故が発生し、犠牲者が出たのです。試験車には同乗者がいませんでしたが、危機回避の適切な行動は取られなかったとのこと。

◆自動運転の達成は、センサーや制御系及び動力系を最新技術で造り上げ、ソフトウェアを何度もバージョンアップすることが絶対の条件、それには無限に近い時間と労力が必要になります。◆車が地球に接している部分は、ハガキ4枚ほどの面積のタイヤです。性能が良い自動運転車でも最後には、このタイヤが生死を分けると言っても過言ではありません。

◆このタイヤはどれが良いかと考えると、トータルパフォーマンスが要求されるWRC(ワールド・ラリー・チャンピオンシップ)で、2011年以降のドライバークラッシュとマニフアクチャラー選手権はすべてフランスのM社タイヤユーザーによって勝ち取られています。一般ユーザーは同社のパイロットスポーツを選ぶと良いでしょう。但し一部を除いて17インチ以上の選択が必要で、それなりの出費は覚悟して下さい。